

第二回 立命館大学-清華大学 国際学術シンポジウム
「日中文化交流と人文学の新たな座標」



日時 2021年5月22日（土） 14:00～18:20

実施形態 Zoomによるオンライン開催（日本語・中国語の同時通訳あり）

共催 清華大学人文学院、立命館大学大学院文学研究科、
立命館大学アート・リサーチセンター国際共同利用・共同研究拠点（ARC-iJAC）

後援 立命館大学アジア日本研究推進プログラム「『アジア芸術学』の創成」

参加無料 ▼▼申し込み方法▼▼

r-darc@st.ritsume.ac.jpにて受け付けます。

「件名：【申込】清華大学・立命館大学国際学術シンポジウム」として、所属・お名前・連絡先メールアドレスを明記した申込メールを上記まで送ってください。申込を受け付けましたら、Zoomアドレスをお送りします。

問い合わせ先

立命館大学衣笠キャンパス アート・リサーチセンター事務局 r-darc@st.ritsume.ac.jp
075-465-8476(月～金 9:00～17:30)

プログラム

(日本時間) 14:00-14:15	開会挨拶 学校法人立命館総長 仲谷善雄 清華大学人文学院 副院長 倪玉萍
14:15-15:35	第1セッション【司会：立命館大学文学部教授 西林孝浩】 立命館大学文学部教授 上野隆三「江戸時代の京の僧侶と中国白話文学」 清華大学人文学院外国語言文学系教授 王成 「近代日本における『菜根譚』の受容について」 日本学術振興会 外国人特別研究員 殷曉星「六諭」関係書諸版本の研究」 清華大学人文学院歴史系教授 劉曉峰 「天地、尺にあり——正倉院の唐尺から見た古代世界」 質疑応答
15:35-15:45	休憩
15:45-16:50	第2セッション【司会：清華大学人文学院教授 雋雪艶】 清華大学人文学院歴史系 劉晨 「洛中洛外図屏風」から見る中世京都の時間と空間」 立命館大学大学院文学研究科 文化情報学専修 安宅望 「瀟湘八景」と「奈良八景」：日本における八景現象受容の一形態について」 清華大学人文学院歴史系 秘秋桐「画像世界の中の鄭成功イメージ」 質疑応答
16:50-17:00	休憩
17:00-18:10	第3セッション 【司会：立命館大学文学部教授 西林孝浩・清華大学人文学院教授 雋雪艶】 清華大学デジタル人文学チーム代表 嚴程 「清華大学デジタル人文学研究チームの展開状況」 立命館大学 衣笠総合研究機構准教授 金子貴昭 「立命館大学アート・リサーチセンター（ARC）の研究実践紹介」 質疑応答
17:50-18:10	全体討論・総括
18:10-18:20	閉会挨拶 清華大学 中国古典文献研究センター主任・『数字人文』雑誌主編 劉石 立命館大学 アート・リサーチセンター センター長 細井浩一